

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ 設置 ~~(使用、変更)~~ 届出書

令和〇〇年〇月〇日

秋田市長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇株式会社 △△事業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市△△-丁目2番3号	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	水質汚濁防止法施行令別表第一を参照	※施設番号	
	<u>有害物質使用特定施設の該当の有無</u>	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	特定施設が複数ある場合、届出者が配置図と整合するように任意に設定(数字(1,2,3)、アルファベット(A,B,C)等) 特定施設が一つの場合は、特に記入しなくても可。	
特定施設号番号及び名称	(例) 71自動式車輛洗淨施設	水質汚濁防止法施行令別表第1を参照
型 式	(例) KH-2075等	既製品等の型式があるものは型式を記入。型式がない場合は空欄。
構 造	(例) 別図のとおり	通常は構造図等の図面や、パンフレットを添付。
主 要 寸 法	(例1) たて*横*高さ (例2) 別図のとおり	別図の場合は、寸法が分かる図面を添付。
能 力	(例1) 洗車5台/時間 (例2) 製造10t/日 (例3) 牛房面積250m ²	
配 置	(例) 別図のとおり 配置図を添付	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和 年6月1日	工事着手年月日は届出をする日の60日後の日付を記入すること。
工事完成予定年月日	令和 年6月8日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和 年6月8日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

特 定 施 設 の 使 用 の 方 法

工場又は事業場における施設番号	(例) NO. 1				特定施設が複数ある場合、届出者が配置図と整合するように任意に設定(数字(1,2,3)、アルファベット(A,B,C)等)特定施設が一つの場合は、特に記入しなくても可。
特定施設番号及び名称	(例) 71自動式車輛洗淨施設				
設置場所	(例) 別図のとおり				
操業の系統	(例) 水洗 シャンプー ワックス				別図や系統図の添付でも可。
使用時間間隔					1日の中で使用間隔を決めて使用する場合は記入。特にない場合は空欄。
1日当たりの使用時間	(例) 9時～17時(8時間)				
使用の季節的変動	(例1) 冬期の使用頻度増加 (例2) 季節変動なし				
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	(例1) カーシャンプー(成分は別添のとおり) 100L/日 (例2) 潤滑剤(成分は別添のとおり) 10L/日				使用する原材料について、有害物質の使用の有無が分かるように記載、または資料を添付する。
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	水素イオン濃度(pH)	7.0	7.8		
	浮遊物質濃度(SS) mg/l	30	70		
	生物化学的酸素要求量(BOD) mg/l	10	30		
	ノルマルヘキサン抽出物質 mg/l	20	35		
				汚水に含有される可能性がある有害物質の濃度や一般項目(pH、SS、BOD、大腸菌群数等)の濃度を記入する。(排水に含有されるおそれのない項目や、規制の対象にならない項目については、記入は不要。)	
				(注)通常は排水量50m ³ /日未滿の工場・事業場には一般項目の基準が適用されないが、秋田県公害防止条例で上乗せ基準が設定されている業種があるので注意。 (例)自動式車輛洗淨施設については50m ³ /日未滿であっても、SS、BOD、COD、ノルマルヘキサン抽出物質濃度の基準が適用される。	
汚水等の量(m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	9	12			
その他参考となるべき事項	使用水300L/台 洗車 通常30台/日、最大40台/日				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	(例) NO. 2	特定施設が複数ある場合、届出者が配置図と整合するように任意に設定(数字(1,2,3)、アルファベット(A,B,C)等) 特定施設が一つの場合は、特に記入しなくても可。							
処理施設の設置場所	(例) 別図のとおり								
設置年月日	年 月 日	年 月 日							
工事着手予定年月日	令和 年 6 月 1 日	工事着手年月日は届出をする日の60日後の日付を記入すること。							
工事完成予定年月日	令和 年 6 月 8 日								
使用開始予定年月日	令和 年 6 月 8 日	年 月 日							
種類及び型式	(例) 油水分離槽、浄化槽など	能力については、汚水の排出量を上回る能力があることを確認するため、設計計算書を添付する。							
構造	(例) 別図のとおり								
主要寸法	(例) 別図のとおり	(注)油水分離槽については、油が混じるおそれがない雨水を別途処理するように設計することが望ましいが、やむを得ず雨水が流入する構造となる場合は、降雨時も能力を超過して油が流出しない能力を有するものを選定すると共に、選定理由が分かる設計計算書を添付すること。							
能力	(例) 3 m ³ /時間								
処理の方式	(例) 自然分離方式								
処理の系統	(例) 別図のとおり								
集水及び導水の方法	(例) 別図のとおり	工場内および敷地外まで排水の経路が分かる図面を添付すること。							
使用時間間隔	(例) なし								
1日当たりの使用時間	(例) 9時～17時(8時間)								
使用の季節変動	(例) なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	(例) 次亜塩素酸ナトリウム L/日 硫酸 L/日等								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	水素イオン濃度 (pH)	7.0	7.0	7.8	7.8				
	浮遊物質 (SS) mg/l	30	30	70	70	処理前の濃度および排水量は、別紙2の数値と整合性がとれていることを確認。処理後の数値は、排水基準値を遵守していることを確認。			
	生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/l	10	10	30	30				
ルマルハサン抽出物質 mg/l	20	<5	35	<5					
別紙2の数値と一致									
量 (m ³ /日)	9	9	12	12					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 1 m ³ /月 月1回委託処理(委託先 (株))								
排出水の排出方法	側溝 旧雄物川			排出先の河川を確認すること(水域によって排水基準が異なるため)。					
その他参考となるべき事項	床にこぼれたオイル等は排水せずに、ウェス等でふき取り								

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		1		雨水	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	水素イオン濃度 (pH)	7.0	7.8		
	浮遊物質 (SS) mg/l	30	70		
	生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/l	10	30		
	ルマルハチン抽出物質 mg/l	<5	<5		
排水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		9	12		
その他参考となるべき事項		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 生活排水を処理する浄化槽がある場合はそれについても記載。 </div>			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用 水 及 び 排 水 の 系 統

<p>用水及び排水の系統</p>	<p>別図のとおり</p>		
<p>用 途 別 用水使用量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量 (m³ / 日)</p>
	<p>洗浄水</p>	<p>上水道</p>	<p>9</p>